

大阪府実行委員会 第1回会議報告

【日時】 2009年 1月18日(金) 14:00～16:15

【場所】 大阪自然環境保全協会 事務所

【参加者】 廣寄・神田(NACS-J)、伊東(大阪市大)、河合・高島・木村・佐藤・上田・砂川・横山・香月・宮田・高木・富(保全協会、自然環境市民大学・ほか)以上14名

【司会】 高島(保全協会) 【記録】 木村(保全協会)

【内容】

(1) 「タンポポ調査・西日本2010」の経過説明(高島)

・前回調査(近畿2005)と異なる点・・・第3回スタッフ会議(2008.12.6)報告参照

- ① 調査範囲が前回2005年の近畿2府5県に、四国4県・中国4県(山口は未定)・福岡・福井(南部)が加わり、2府15県となる。
- ② 調査地点の位置は「メッシュ番号」のみで記入してもらったが、「緯度・経度」でも可とする。この値は変換してメッシュコードに直して処理する。
- ③ 範囲が広くあまり会合がもてないので、連絡事項については、メーリングリストやホームページを活用する。メーリングリストに登録を希望する場合は、タンポポ調査委員会の e-mail アドレス (tampopo2010@nature.or.jp) まで連絡ください。

(2) 大阪府実行委員会の組織体制について

① 代表・・・佐藤 治雄(保全協会副会長・大阪府大名誉教授)

② 副代表・・・伊東 明(大阪市大理学部助教授)

③ 事務局(高島)(木村)(横山)(神田)(富) () ()

④ 会計(香月)

空の会から

⑤ 調査実行委員(候補を含む)

・本日の参加者(14名)・名波(大阪市大)・志賀・佐久間(自然史博物館)・佃(NACS-J)・八田・本多・有川・斉田・桐山・南・飛田(保全協会関係)

<実行委員の役割>

・タンポポ調査に参加するとともに、地域や所属団体に参加を呼びかける。

・事務局に送られてきた調査用紙と花やタネのサンプルを処理する。

(調査用紙の記載を点検し、花粉を顕微鏡で観察し、カンサイタンポポを確認)

・2010年春の本調査では、調査者が少ない地域を埋めるための補足調査を行う。

⑥ 調査協力団体(依頼中を含む)・・・大阪市大理学部生物学科・大阪市立自然史博物館・保全協会タンポポ調査委員会・空の会植物部会・大阪府高等学校生物教育研究会・豊中アジェンダ21・グリーンパーク熊取・池田人と自然の会・高槻・その他

⑦ 調査地域ブロック別担当者・・・未定(次回検討)

A 豊能

B 三島

C 北河内

D 中河内

E 南河内

F 泉北

G 泉南

H 大阪市内

(3) 大阪における今後の取り組み

① 大阪府タンポポ調査現地説明会と花粉観察講習会(兼 実行委員会第2回会議)

・日時: 3月28日(土)13:00～ 雨天決行

・場所(未定)・・・候補地(服部緑地・大泉緑地・大阪城公園など)

・前半(野外)・・・現地を歩きながら、タンポポ調査の方法を研修する(一般向け)

・後半(室内)・・・タンポポ調査用紙とサンプル処理の講習会(実行委員向け)

*顕微鏡を用いて花粉を観察して、2倍体在来種(カンサイタンポポ)を識別

② 次回実行委員会(第2回会議)・・・3月28日(土)説明会終了後